



みんなの
ひろば

くらすめ～る

学級通信 向津具中学校3年

担任：上野 忍先生
生徒：36名

「夢と希望」の実現にむけて

向津具中学校の歴史で最後の三十人以上の学級になるかもしれない。学校の最上級生として、学校を引っ張っていかうとしています。学級のスローガンは、『ファイト三十六発、一歩前進』です。何事にも、全力で取り組み、わずかでも目標に向かって進むという意気込みを示しています。

二年生の時には、文化祭で『夢と希望』をテーマに、「仲間とは」「はじめをなくすには」「希望をかなえるためには」ということを取り上げ、劇にして発表しました。最初は、盛りあがりか今一歩でしたが、何度も話し合い、一人一人の自覚が生まれ、すばらしい劇となりました。

三年生になって、『みんなを取り組み、みんなの思い出する修学旅行』を目標に、実行委員を中心に頑張っています。

『夢と希望』を本当に実現できるよう、努力を続けていってほしいと思っています。



歳時記

初夏

日の光初夏傾けて

照りわたる

横光利一

初夏のみちぬれそむ

雨に桑車

飯田蛇笏

新緑、青い空、さわやかな風……初夏は、心が弾む季節です。旧暦では、夏というのは、立夏（新暦の五月六日ごろ）から立秋（新暦の八月八日ごろ）までのこと

で、それをさらに初夏、中夏、晩夏の「三夏」に分けていたようです。

初夏という言葉はよく使いますが、中夏や晩夏は耳慣れない言葉ですね。

初夏は、暦のうえで現在の五月六日ごろからといえるでしょうが、実際の感覚からいうともう少し遅いといえます。暖かい地方では五月中旬ごろから六月中旬、北の地方では六月下旬ごろまでを初夏と感ずるの

ではないでしょうか。初夏と同じ時期を表す言葉に、余春（立夏を過ぎて夏に入っても、まだ春の趣が残っていること）、夏めくなどもあります。

若夏という言葉をご存じですか。沖縄地方で四、五月の季節を表す言葉です。沖縄の本土復帰の後、初めての国体の名称が「若夏国体」でした。沖縄では、初夏のことを方言で『うりずん』といいます。若夏とも表現します。その土地

の季節感にあった表現もいろいろあります。

さわやかな季節でも戸外に出られず病床にある方や、外出には介助が必要な方もいます。五月十二日は「看護の日」、この日を中心とした一週間は「看護週間」です。この日を機会に、看護の大切さを考えたいものです。

初夏という言葉はよく使いますが、中夏や晩夏は耳慣れない言葉ですね。

初夏は、暦のうえで現在の五月六日ごろからといえるでしょうが、実際の感覚からいうともう少し遅いといえます。暖かい地方では五月中旬ごろから六月中旬、北の地方では六月下旬ごろまでを初夏と感ずるの

ではないでしょうか。初夏と同じ時期を表す言葉に、余春（立夏を過ぎて夏に入っても、まだ春の趣が残っていること）、夏めくなどもあります。

若夏という言葉をご存じですか。沖縄地方で四、五月の季節を表す言葉です。沖縄の本土復帰の後、初めての国体の名称が「若夏国体」でした。沖縄では、初夏のことを方言で『うりずん』といいます。若夏とも表現します。その土地

の季節感にあった表現もいろいろあります。

さわやかな季節でも戸外に出られず病床にある方や、外出には介助が必要な方もいます。五月十二日は「看護の日」、この日を中心とした一週間は「看護週間」です。この日を機会に、看護の大切さを考えたいものです。

初夏という言葉はよく使いますが、中夏や晩夏は耳慣れない言葉ですね。

初夏は、暦のうえで現在の五月六日ごろからといえるでしょうが、実際の感覚からいうともう少し遅いといえます。暖かい地方では五月中旬ごろから六月中旬、北の地方では六月下旬ごろまでを初夏と感ずるの

ではないでしょうか。初夏と同じ時期を表す言葉に、余春（立夏を過ぎて夏に入っても、まだ春の趣が残っていること）、夏めくなどもあります。

若夏という言葉をご存じですか。沖縄地方で四、五月の季節を表す言葉です。沖縄の本土復帰の後、初めての国体の名称が「若夏国体」でした。沖縄では、初夏のことを方言で『うりずん』といいます。若夏とも表現します。その土地

の季節感にあった表現もいろいろあります。

さわやかな季節でも戸外に出られず病床にある方や、外出には介助が必要な方もいます。五月十二日は「看護の日」、この日を中心とした一週間は「看護週間」です。この日を機会に、看護の大切さを考えたいものです。

初夏という言葉はよく使いますが、中夏や晩夏は耳慣れない言葉ですね。

初夏は、暦のうえで現在の五月六日ごろからといえるでしょうが、実際の感覚からいうともう少し遅いといえます。暖かい地方では五月中旬ごろから六月中旬、北の地方では六月下旬ごろまでを初夏と感ずるの

ではないでしょうか。初夏と同じ時期を表す言葉に、余春（立夏を過ぎて夏に入っても、まだ春の趣が残っていること）、夏めくなどもあります。

若夏という言葉をご存じですか。沖縄地方で四、五月の季節を表す言葉です。沖縄の本土復帰の後、初めての国体の名称が「若夏国体」でした。沖縄では、初夏のことを方言で『うりずん』といいます。若夏とも表現します。その土地

